



## 平成24年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年12月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ドクターシーラボ  
コード番号 4924 URL <http://www.ci-labo.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石原 智美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小杉 裕之

TEL 03-6419-2500

四半期報告書提出予定日 平成23年12月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年7月期第1四半期の連結業績(平成23年8月1日～平成23年10月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年7月期第1四半期	7,759	4.4	2,099	6.5	2,105	7.6	1,250	17.0
23年7月期第1四半期	7,429	14.8	1,971	2.0	1,957	1.5	1,069	△0.1

(注) 包括利益 24年7月期第1四半期 1,230百万円 (15.8%) 23年7月期第1四半期 1,062百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年7月期第1四半期	4,982.16	4,979.32
23年7月期第1四半期	3,949.48	3,943.72

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年7月期第1四半期	17,659	13,913	78.8	55,414.55
23年7月期	20,190	14,358	71.1	57,193.31

(参考) 自己資本 24年7月期第1四半期 13,913百万円 23年7月期 14,358百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年7月期	—	—	—	6,700.00	6,700.00
24年7月期	—	—	—	—	—
24年7月期(予想)	—	—	—	7,900.00	7,900.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年7月期の連結業績予想(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,740	13.0	5,470	6.2	5,460	6.1	3,200	12.1	12,746.21
通期	41,000	13.2	11,300	10.3	11,280	10.8	6,610	10.2	26,328.89

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3、2.(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年7月期1Q	254,085 株	23年7月期	280,868 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

24年7月期1Q	3,000 株	23年7月期	29,813 株
----------	---------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年7月期1Q	251,070 株	23年7月期1Q	270,687 株
----------	-----------	----------	-----------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、P.3、1.(3)連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるものの、サプライチェーンの早期復旧等により、緩やかな回復傾向がみられました。しかし、急激な円高、欧州の財政問題や米国の景気低迷など世界的な金融不安により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは第三次中期経営計画の2年目として、既存顧客の継続的ご購入回数の上とテレビCM放映による新規顧客の獲得を軸とした長期的成長基盤の確立に取り組んでおります。

販路別に見ますと、通信販売は、従来のサンプル訴求型ではなく、プレゼント訴求型のテレビCMを放映する等の新たな試みにより、新規顧客の獲得に注力しました。また、既存顧客に対しても継続的なご購入回数を向上させるべく、サービスや企画の充実に取り組んでおります。以上により、通信販売の売上高は4,919百万円となり、前年同期と比較して9.9%増加しました。

対面型店舗販売は、百貨店業界が厳しい状況が続いており、新規顧客の獲得が伸び悩んでいる中、サービスレベルの向上により既存顧客の来店を促進することで売上高を伸ばさせました。また、来店客数の増加によりGMSは堅調に推移しています。さらに、直営店を1店舗新規出店したことも売上高の増加に寄与しました。以上により、対面型店舗販売の売上高は1,064百万円となり、前年同期と比較して8.3%増加しました。

卸売販売においては、ハーバルO<sub>2</sub>シリーズのドラッグストアを中心とした新規導入に注力しましたが、前期に発売したセット品の流通在庫の返品を受け入れた影響を受けました。以上により、卸売販売の売上高は1,618百万円となり、前年同期と比較して10.6%減少しました。

海外においては、香港では、臨時店舗を2店舗出店したことが売上高を押し上げ、前年同期と比較して非常に好調に推移しました。シンガポール・マレーシアでは、薬用アクアカラーゲル美白を中心に販売促進に注力し、韓国では、日本人観光客に対する販売が好調でした。また、米国においては、既存の卸売販売に加えて通信販売も好調に推移しました。しかし、主力販路である台湾でのTVショッピング販路が放映網が縮小した影響を受けて伸び悩み、海外全体としては、前年同期を下回る結果となりました。以上により、海外事業の売上高は155百万円となり、前年同期と比較して1.7%減少しました。

利益面では、売上高営業利益率が27.1%（前年同期実績26.5%）、売上高四半期純利益率が16.1%（前年同期実績14.4%）となりました。当第1四半期連結累計期間は、前年同期と比較してテレビCMによる新規顧客獲得に伴うノベルティ費用等が増加したことにより販売促進費の対売上高比率が上昇しましたが、利益率の高い通信販売の売上高構成比が上昇したことや広告宣伝やダイレクトメール等の発送の効率化を図ったことにより広告宣伝費や通信費が当初の予定を下回ったこと等に起因して高い利益率を確保することができました。

以上により、売上高は7,759百万円（前年同期比4.4%増）、経常利益は2,105百万円（前年同期比7.6%増）、四半期純利益は1,250百万円（前年同期比17.0%増）となりました。

事業の種類別セグメントの概況については、以下のとおりです。

#### <化粧品事業>

化粧品事業においては、ドクターシーラボブランドは、「金のリフトWローラー」を活用したアクアカラーゲルエンリッチリフトEXの販売促進が奏功し、同商品が引き続き売上高の伸長を牽引しました。また、前期にハーバルO<sub>2</sub>シリーズの第1弾として発売したハーバルセラムO<sub>2</sub>が好調に販売実績を伸ばし、新たな柱として育ちつつあります。ラボラボブランドは、前年同期のCM放映やスーパーモイストゲルの増量サイズ投入等の大きな施策による効果をカバーすることができず、前年同期実績を下回る結果となりました。ジェノマーブランドは、通信販売での販売実績を大きく伸ばしているほか、主力販路である百貨店においてもアイケアクリームを中心に販売実績を伸ばし、好調に推移しております。

以上により、化粧品事業の売上高は7,304百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

#### <健康食品事業>

健康食品事業は、前期に発売した健康・ダイエット食品「美禅食」が顧客参加型のダイエットコンテストの実施等によるPR効果により販売実績を大きく伸ばし、好調に推移しております。また、主力販路である通信販売に加えて、規模は小さいものの店頭での販売実績も着実に伸ばさせ、売上高の底上げを図ることができました。

以上により、健康食品事業の売上高は、455百万円（前年同期比59.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比較し、2,531百万円減少いたしました。これは主に、法人税等及び配当金の支払により現金及び預金が1,477百万円減少したことに加えて、売掛金が1,431百万円減少したことによります。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較し、2,086百万円減少いたしました。これは主に法人税の納付により未払法人税が1,515百万円減少したことに加え、未払金が816百万円減少したことによります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較し、444百万円減少いたしました。これは主に自己株式が7,383百万円減少した一方、利益剰余金が自己株式の消却、配当金による剰余金の処分等を主因として7,814百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、現時点においては、平成23年9月8日付「平成23年7月期決算短信」にて発表の第2四半期連結累計期間業績予想及び通期業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,839,768	6,362,014
売掛金	5,371,901	3,940,698
有価証券	291,017	291,064
商品及び製品	1,886,912	2,163,856
原材料及び貯蔵品	1,156,590	1,395,589
その他	743,677	667,672
貸倒引当金	△256,557	△235,474
流動資産合計	17,033,310	14,585,421
固定資産		
有形固定資産		
建物	242,072	243,023
減価償却累計額	△142,165	△146,428
建物（純額）	99,907	96,595
工具、器具及び備品	1,060,655	1,073,177
減価償却累計額	△801,647	△815,266
工具、器具及び備品（純額）	259,007	257,911
有形固定資産合計	358,914	354,507
無形固定資産		
ソフトウェア	724,917	734,318
その他	103,770	25,872
無形固定資産合計	828,687	760,190
投資その他の資産		
投資不動産	1,628,634	1,628,634
減価償却累計額	△69,758	△71,489
投資不動産（純額）	1,558,876	1,557,144
その他	410,435	401,961
投資その他の資産合計	1,969,311	1,959,105
固定資産合計	3,156,914	3,073,803
資産合計	20,190,225	17,659,224

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	799,056	774,548
未払金	1,960,420	1,144,038
未払法人税等	2,383,552	868,387
賞与引当金	87,006	217,516
ポイント引当金	132,927	117,469
その他	331,569	486,597
流動負債合計	5,694,532	3,608,557
固定負債		
退職給付引当金	69,798	73,238
その他	67,228	63,666
固定負債合計	137,026	136,904
負債合計	5,831,558	3,745,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,189,540	1,192,246
資本剰余金	1,666,940	1,669,646
利益剰余金	19,811,733	11,996,799
自己株式	△8,209,873	△826,136
株主資本合計	14,458,340	14,032,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,235	—
為替換算調整勘定	△89,438	△119,743
その他の包括利益累計額合計	△99,673	△119,743
新株予約権	—	950
純資産合計	14,358,666	13,913,762
負債純資産合計	20,190,225	17,659,224

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年8月1日 至 平成22年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成23年10月31日)
売上高	7,429,581	7,759,427
売上原価	1,253,376	1,283,164
売上総利益	6,176,205	6,476,263
販売費及び一般管理費	4,204,261	4,376,314
営業利益	1,971,944	2,099,948
営業外収益		
受取利息	1,933	1,250
受取配当金	71	58
償却債権取立益	—	4,673
受取手数料	2,363	3,087
商品破損受取賠償金	3,838	679
その他	1,639	3,028
営業外収益合計	9,846	12,777
営業外費用		
為替差損	22,126	1,550
支払手数料	—	3,049
減価償却費	1,827	1,731
その他	—	630
営業外費用合計	23,953	6,961
経常利益	1,957,837	2,105,765
特別損失		
投資有価証券評価損	—	19,100
減損損失	—	2,572
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37,934	—
固定資産除却損	3,470	597
その他	2,238	—
特別損失合計	43,644	22,269
税金等調整前四半期純利益	1,914,193	2,083,495
法人税等	845,120	832,624
少数株主損益調整前四半期純利益	1,069,072	1,250,870
少数株主利益	—	—
四半期純利益	1,069,072	1,250,870



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年8月1日 至平成22年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年8月1日 至平成23年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,069,072	1,250,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,913	10,235
為替換算調整勘定	△8,191	△30,304
その他の包括利益合計	△6,277	△20,069
四半期包括利益	1,062,794	1,230,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,062,794	1,230,801
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年8月1日至平成22年10月31日)

当社グループの報告セグメントは、化粧品事業及び健康食品事業であります。健康食品事業の割合が全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年8月1日至平成23年10月31日)

当社グループの報告セグメントは、化粧品事業及び健康食品事業であります。健康食品事業の割合が全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年8月4日開催の取締役会において、自己株式の消却を行うことを決議し、平成23年8月19日付で、自己株式を消却いたしました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ7,383,736千円減少し、当第1四半期連結会計期間末において、利益剰余金が11,996,799千円、自己株式が△826,136千円となっております。